猫岳（2581m）・大崩山（2530m）　山スキー報告

山行日：平成 29 年 2 月 4 日（土）

天候：快晴

登山方法：山スキー

メンバー：CL 菊池　吉川　薄井（記録）　会員外 2 名（Ｉ、Ｓ）

行動時間：久手牧場入口（1380m）7:15-夫婦松 9:35-スカイライン 11:20-猫岳山頂直下（2530m付近）12:20-大崩山山頂（2530m）13:35-久手牧場入口 16:00

今回のメンバー5 人のうち 3 人は、昨シーズン同コースの経験者。とはいえ、悪天候や時間切れで全員が敗退しており、猫岳山頂にまで達したメンバーはいない。私は全く初めてだが、歩きが長いのは好みなので楽しみだ。

朝 6 時半に安房トンネル出口で富山から来たＳさんと待ち合わせ、平湯トンネルを抜けた先に車を停めた。すでに車があり、先行者はいる様子だ。先週もその前も暖かい中でのスキーだったので、今朝は久しぶりに寒く感じる。気温は－13℃を示しているが、今日もこれから気温は上がる予報。

久手牧場の看板前から 7:15 にスタート。林道をしばらく辿った後のひと登りが急登で、ジグを切って上がるのに手間どった。スタート地点は日陰だったが、向かう山から朝日が射しはじめ、向かいにある輝（てらし）山の斜面を照らしている。今日は雲一つない快晴で、風もない。高度を上げると、眩いばかりの景色が見えてきた。

乗鞍スカイラインへ出て、夫婦松駐車場で一休みした。ここからは樹林帯に出たり入ったりしながら、ヘアピンカーブのスカイラインをショートカットでかすめて歩く。

大崩山稜線の直下となるスカイラインへ出ると、遠くに猫岳がキラキラしている。前回のちば山パーティはここから大崩山の尾根を辿ったとのことだったが、今回目指すのは猫岳なので、まっすぐに伸びるスカイラインをそのまま進むことにした。

このコースは距離が長く、時間がどんどん過ぎていく。トレースはスカイラインを外れ、猫岳と大崩山のコルへ向かっているようだ。ここでペースがそれぞれのメンバーを、猫岳山頂を目指す組と大崩山へ向かう組に分けることにした。猫岳組の 3 人は、ペースを上げて登る。標高を上げるに従って雪面が固くなり、足元が不安定になってくる。スキーの滑落防止訓練ってそういえばやったことないけど、どういう姿勢をとればいいのだろうなんて考えている。

山頂まで残り高度差 50m程度まで登ってきた。朝からずっと日が当たっているはずだが、雪面はまったく緩んでいない。先行者のトレースは、スキーアイゼンをつけている。アイゼンを持たないメンバーがいるのと、下りに不安もあることから、残念ながら今回はここまでとした。

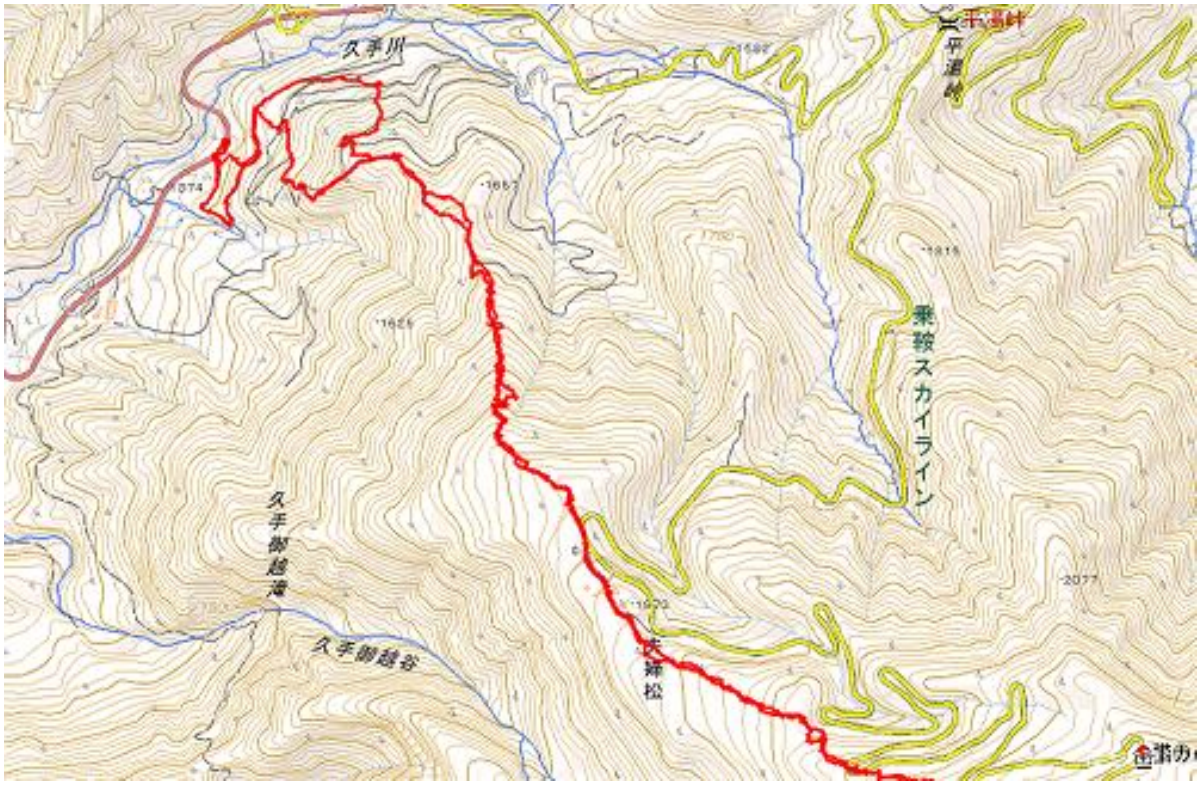
それでも目の前に穂高連峰と笠ヶ岳、槍ヶ岳、遠くには八ヶ岳、振り返った先には白山と、稜線からの景色は拝みたくなるほど。日本海まで見えそうだ。

カチカチの斜面をシールを付けたままコルへ下っていくと、ちょうど大崩組の二人が上がってきた。緩い登り斜面を、全員で大崩山山頂へ向かう。

さて、スキーが苦手なので、登りが終わればお楽しみはだいたい終わった気分。大崩山山頂で記念撮影の後はお愉しみのパウダーランであるが、私にとっては、これからは「修行」の時間になる。

雪がいいとか悪いとか、私のレベルではあまり関係がない。密な林間の滑りなんて、木に衝突しないことだけを祈っている。それでも行きの所要時間を考えると、あっという間にスカイラインまで滑り降り、その後も苦労しながら滑り、最後の牧場のオープンバーンだけちょっと楽しいかもと思いながら、16:00 に無事ゴールした。新雪の滑りは難しい。夏山並みの長時間行動だったが、今シーズンのベストにもなりそうな楽しく、歩きがいのある山行となった。

翌朝は曇天。気温は高く、8 時前から水気の多い雪が降ってきた。昨日の入口久手牧場周辺で少し遊んで終了とし、平湯民俗館の無料露天風呂（脱衣所から露天風呂まで裸足で雪上を歩く「苦行」付き）で温まり、2 日間の疲れを癒した。


久手川
平湯峠
乗鞍スカイライン
久手御越滝
久手御越谷
夫婦松

猫の小屋
大崩山
猫岳
乗鞍スカイライン
四ッ岳